

令和8年第2回竹原市議会定例会一般質問

蕎麦田俊夫

1. 公設体育館への空調設備設置について

災害発生時の主要避難所である公設体育館には空調設備が設置されていません。大規模災害が発生した時には多くの避難者が長期間に渡り、公設体育館で避難生活を送ることになります、災害発生時期が夏季であれば熱中症が危惧され、冬季であれば低温による健康障害の発生が危惧されます。私は過去2回定例会において、学校体育館とバンブー総合公園体育館に空調設備設置の必要性について、時の市長の所見を伺いましたが、残念ながら予算の都合上、導入は困難との回答でありました。

しかし、全国的に大規模災害が続発している現状や内閣府から避難所に指定されている公設体育館に空調設備の設置を促進する要請が出されているなどの状況を考慮すれば、公設体育館へ空調設備を設置することは先送りできないものと思われます。公設体育館へ空調設備を設置することに対しての平井市長の御所見をお伺い致します。

2. スポーツ推進係の新設について

近年、全国的に健康寿命の延伸や地域コミュニティの活性化を目的として、自治体におけるスポーツ振興の重要性が高まっています。竹原市においても子どもから高齢者まで幅広い世代がスポーツに親しめる環境づくりが求められますが、竹原市にはスポーツ担当の専門部署がありません。

市民がスポーツに親しむことは市民の健康増進、若者の地域定着、高齢者の介護予防等に極めて有用なことであります。生涯スポーツの推進、競技団体・学校・地域クラブとの連携担当係、スポーツ施設の利用促進、スポーツを利用した地域活性化策の企画等を担当する専門の係が必要と思われます。竹原市におけるスポーツ行政を強化するためには「スポーツ振興係」の設置が必要と思われますが、市長の御所見をお伺い致します。

3. 竹原市スポーツジュニア育成助成事業について

ジュニアスポーツの振興は子どもたちの健全な成長を支え、地域社会を活性化し、将来の競技力向上にもつながる重要な取組であります。ジュニア期は心と体の基礎が形づくられる極めて重要な時期であり、スポーツに継続的に取り組むことで、基礎体力や運動能力の向上だけでなく、仲間と協力する

経験や目標に向かって努力する姿勢が育まれ、スポーツを通じて培われる礼儀や公正さやルールを守るといった観念は、学校生活や将来の社会生活にも大きな影響を与えたとの考えの下、竹原市スポーツ協会では馬場元会長から「ジュニア育成に役立てて欲しい」として、御寄贈頂いた寄付金を活用して、令和5年度よりジュニア育成事業助成金制度を制定し、竹原市スポーツ協会加盟団体やスポーツ少年団を対象としたジュニア育成事業への助成を行い、好評を得ていましたが、予定予算の執行終了に伴い、令和7年度で助成事業は終了となっております。竹原市におかれましては、竹原市スポーツ協会と同様のスポーツジュニア育成助成事業を始めて頂きたいと思いますが、市長の御所見をお伺い致します。

4. 相撲競技普及への取組について

竹原市は広島県と連携して、「わがまちスポーツ推進プラン」を策定し、その中で相撲を市の代表的スポーツとして明確に位置付けました。竹原市が相撲を市の代表的スポーツと位置付けることは、竹原市での相撲の歴史や現在の活動状況から見て、的確な決定と思われます。つきましては、今後竹原市として、相撲競技の普及にどのような取組を予定しているのか、お伺い致します。

5. 竹原市共同墓地使用環境整備について

以前、竹原市共同墓地にはトイレがありましたが、現在は撤去されており、近くに公衆トイレも無く、墓参りをされる方から強い改善要望が私のもとに寄せられています。お墓参りをされる方は高齢者も多く、共同墓地内にトイレを設置しておくことは必要不可欠であります。すべての方に安心してお墓参りをして頂くために、共同墓地内にトイレを設置すべきと思いますが、市長の御所見をお伺いします。

6. 校務支援システムの導入について

竹原市では、令和8年4月から校務支援システムシーフォース（以下、C4th）が導入されています。導入された校務支援システムがC4thになった理由、導入に向けて教職員の理解を得ることと、導入研修は十分に実施されたのか、導入後の成果と課題について、教育委員会として認識されておられる事項をお伺い致します。